



2020年7月6日

報道関係各位

「本わさび茶」新商品開発と発売についての記者会見のご案内

平素は、松本大学の活動にご理解およびご支援賜りまして心から感謝申し上げます。

この度、松本大学矢内研究室は、株式会社黒姫和漢薬研究所、有限会社あづみ野食品様との共同で新商品を発売する運びとなり、記者会見を開かせていただくこととなりましたのでご報告させていただきます。是非取材の方よろしくお願いいたします。

敬具

記

日時：2020年7月9日（木） 14:00～15:00

場所：松本大学4号館2階 大会議室

出席者：松本大学矢内研究室、株式会社黒姫和漢薬研究所、有限会社あづみ野食品

◆発売商品名：本わさび茶（NATURAL WASABI TEA）

◆価格：500円（税別）

◆販売場所：大王わさび農場、長野県内 SA、PA（一部）、JR 駅売店（一部）

《商品コンセプト》

ワサビの生産量日本一の長野県において、わさびの有効活用を展開することが、日本一の産地として重要と考え、今までにワサビ葉の有効活用として、わさび葉ペーストの開発から、わさびコロッケを始めとする商品群を構築し、サービスエリア等では定番商品として確立されてきましたが、この度、松本大学6次産業化推進モデルによる新商品開発スキームにより、松本大学矢内研究室、株式会社黒姫和漢薬研究所、有限会社あづみ野食品で新チームを立ち上げ、わさび葉を用いた「本わさび茶」をリリースいたします。

お茶タイプの商品に加工されたわさび葉の特徴は、緑茶と比較して旨味成分のグルタミン酸が約2.5倍、またヒトの体を構成する20種類のアミノ酸量は約4.4倍となっています。さらに、リラックス成分として知られているGABA（γアミノ酪酸）も3.8倍含まれています。緑茶代わりに飲んでいただくことで、アミノ酸補給やリラックス効果が期待できると考えます。わさび葉は多く収穫されますが、抜本的な使用法については、それに見合う商品が無く、廃棄されていたのが現状でしたが、わさび葉をお茶に加工する技術を、この度黒姫和漢薬研究所との共同開発により実現することができ、わさび葉の有効活用と需要拡大が期待できると考えます。また、わさび生産量日本一を誇る大王わさび農場様の全面協力により、商品化が実現しました。コロナ状況下ですが、観光業の復興に貢献できれば幸いに存じます。

※会見につきましては、新型コロナウイルス対策を講じ、三密を避けた会場を設定して実施いたします。また、お越し頂いた際には、4号館東側の入り口からお入りいただき、階段前の検温システムで検温してから、2階大会議室までお越しいただきますようご協力のほどお願いいたします。

■本件に関するお問合せ先

松本大学 矢内研究室 TEL 0263-48-7200（代表）（携帯：090-1629-5888）

kazuhiro.yanai@t.matsu.ac.jp